

令和8年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 49

千葉県立松戸国際高等学校 全日制的課程 普通科・国際教養科

1 選抜の資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名5分
(3) 作文	字数：600字以上800字以内 検査時間：50分

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔135点満点〕

アの数値を調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	調査書の評定の全学年の合計値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動及びその他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔20点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各10点満点）を合計し、得点化する。評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望理由・意欲	本校志望理由、入学後の学習その他の活動に取り組む意欲が明確である。
イ 実績・資質	努力してきた経験、成果、入学後も周囲と協調して能力を発揮する姿勢、資質が明確である。

(3) 作文〔30点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（特に優れている）・b（優れている）・c（標準的である）・d（やや問題がある）・e（問題がある）の5段階で評価する。aを5点、bを4点、cを3点、dを2点、eを1点とし、2名の評価者の評価（各15点満点）を合計し、得点化する。

評価eが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 内容	指定されたテーマに沿って、具体例や詳細な説明と共に回答されている。
イ 構成	回答の筋道や論理に飛躍や矛盾がない構成であり、全体的にまとまりがある。
ウ 表現・表記	文章表現が適切である。文字・単語の表記、及び字数・語数が適正である。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査（作文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点	面接の得点	各高等学校において別に定める検査（作文）の得点	総得点
評定			
135点	20点	30点	185点

(2) その他

入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。